




# 龍野ロータリークラブ週報

ロータリーのマジック

2024-25 年度国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック

	2024-25 年度		例 会：毎週木曜日 12:30～13:30
	会 長	片岡孝次	龍野経済交流センター1 階
	幹 事	池田和由	事務局：〒679-4167 たつの市龍野町富永 702-1
	広報委員長	荻野正和	龍野商工会議所内 TEL 0791-63-4141 FAX 0791-63-4360 E-mail tatsuno-rc@tatsuno.or.jp

No.2 (3159 号) 2024 年 (令和 6 年) 7 月 11 日 (木) 曇  
例会記録

点 鐘 我らの生業  
来 客 なし  
来訪会員 なし

## 出席報告

会員数	出席	出席免除	欠席	出席率	前々回欠席	メイクアップ	修正出席率
29	21	10	8	87.50%	4	1	86.95%

## 会長の時間 ●片岡会長

私は 31 年前より、本竜野駅東側の「龍野町中村」に住まっております。

当時は、地区内に田んぼも多くあり、田植えを終えたこの時期の夜は、カエルくんの大合唱でやかましかったのですが、子ども園・小学校・中学校も近く、全国チェーンの店舗や池田メガネさんのように昔から経営される店舗も多く、役所や病院も自転車ですぐに行ける距離にあります。そして何より、本竜野駅に近く、姫新線の車両に乗車してしまえば姫路駅まで 20 分で行ける利便性が、現役世代に受けているのだと思います。今では住宅が立ち並び、小学校のクラスが 6 学級もある学区となり、休日は朝から、子どもたちの声が聞こえる、都市部の住宅街を校区に持つ学区・地域のように、少子高齢化とは縁遠い地域となっています。

さて、先日、元財務省事務次官・矢野康治氏の『日本の財政』についてお話を聞く機会がありました。

政治家が、『少子・超高齢社会からの脱却を考え

ず容認・肯定し、膨張した医療介護費や、ばら撒き予算にも手を付けず、有権者から最大得票を得るための耳障りの良い公約を掲げて、ほぼ国政を進めた』結果、1,255 兆円もの財政赤字をこの国は抱えています。せめて欧米並みの財政体質にするため施策案は、わずか 100 名ほどの企業を束ねる私からすれば、すぐにでも発動して頂きたい内容でした。

施策案とは、生産年齢を今より引き上げる。つまり年金支給年齢を遅らせるというものです。「働きたいと考える人に、働く環境を整えることが私たちに課せられた喫緊の課題」だと思いました。加えて、思い切った少子化のための施策と、高齢者の介助・介護期間の短縮のための施策の実行も急務と思いました。

追) 野党は、万年野党でも良いと腹をくくり、支持母体の理想をブレること無く伝え続けることも大切だと、一有権者として思います。皆さまいかがでしょう。

## クラブサービス部門担当委員会報告

クラブ奉仕委員会 ●伊藤委員長



### 1. 委員会構成

クラブ奉仕委員会は本年度の中心的な役割を果たすべく、片岡会長の思いがこもった委員会構成となっています。片岡会長が毎回声に出し行動されているように、新会員を増やすということが必ず実行できるよう思いのこもった構成です。

経験したことの無い会員数でのスタートとなり、片岡会長と池田幹事は相当なご苦労があったことと思います。通常であれば人数に合わせて委員会の数を絞ったり、事業の縮小を考えてみたりという対応もあったと思いますが、逆に会員増強を達成し尚且つクラブ事業も出来る限り実施をするという方針で、すべての会員に積極的な参加

会員増強委員会 ●一色委員長



本年度、会員増強委員長を務めさせて頂きます。

片岡会長の方針として、会員の増強に重きをおいておられ、会員数の最低でも純増2名と打ち出されています。これは先日の地区研修協議会でも本年度の方針として強く求められた数字でもあります。純増ですから、単に2名の入会を進めるのではなく、退会者を無くすことも重要かと考えています。ここ数年は毎年、退会者が複数名ありますが、どこに理由があるのか。また、ご入会を進めても断られる理由はどこにあるのか。少し前のお断り理由と少し異なってきたような気がします。古くからの会員の方からは、以前の

を呼びかけられています。

### 2. 基本方針

一色会員増強委員長の元、神名委員長とタッグを組んでいただき、面談をスケジュール化することで面談を確実に実施し、三顧の礼をもって新しい会員をお迎えし、会員増強を実現いたします。すべての会員の皆様には積極的なお力添えをお願いします。

創立以来、龍野クラブの柱となっている親睦事業ですが、お酒が飲めない段委員長にお願いしておりますので、多くの皆様のご参加を期待しています。

例会担当及び情報委員会の富田委員長、情報委員会の本條委員長には会長経験者としての情報提供もお願いしたいと思います。

例会だけでなく色々な事業の出席を促していただく森口出席委員長、週報が中心となる広報委員会に荻野委員長にお願いしております。

どの方もお忙しい方々ばかりですので、お互いに助け合ってスムーズにクラブ運営ができます様、ご協力のほどお願いいたします。

会員数は70名以上あり、幅広い年代の会員がいらっしゃるとうれしくお伺い致します。和やかな雰囲気でのち、例会が始まると緊張感が走る。今ではその緊張感が無くなったと仰る方もありました。

龍野ロータリークラブ以外にも会員数が減少しているクラブが多いとのことですが、中には僅かながら増加に転じたクラブ、或いは増加とはいかないまでも、一定数を維持継続しているクラブもあるようです。そのようなクラブとの違いなども、有用な検討材料になるかと思います。本年度は、中村ガバナー補佐の就任挨拶にありました“何のためにロータリークラブに入会したのか”を見つめ直す会員増強委員会にしたいと思います。

そこで、来月の会員増強委員会アワーを効率的に進めたいと思いますので、予告を申し上げます。1ヶ月ほどありますので、その旨をご検討頂きますと一つ前に進めますので、非常に有り難く存じます。

#### (1) 退会者について

① なぜ退会者があるのか。



- ② 退会者を無くすにはどうすればよいか。
  - ③ それを実行するには何が必要か。
- (2) 新規入会者について

会員選考委員会 ●神名委員長（代読：池田幹事）



### 1. 基本方針

会員選考の前提として、現会員の職業分類を再確認し、未充足の職業を明確化します。そのうち未充足の職業を満たすように、新たな会員の選考を行います。

親睦委員会 ●段委員長



### 1. 基本方針

本年度、片岡会長のテーマは「多様性を膨らます」であります。英語の多様性（diversity）の語源はラテン語の（diverstias）と言い、どちらかというと消極的な意味を持っていたものが、最近では前向きな意味で捉えられる様になりました。

当委員会では、会員同士の交流の場を前向きな機会と捉え、会員の親睦と相互の理解を深め、多様性を意識した事業を実施します。また、ご家族様にもロータリー活動にご理解をしていただくことに努め、これから入会される候補者をはじめ多くの方に興味を持っていただける企画運営をして参ります。

### 2. 活動内容

- ① 新入会員候補者リストの可否。
- ② 候補者とのアポイント日程の調整。

20 年前の職業分類との比較や、商工会議所の部会情報なども参考にして、会員選考を行います。

### 2. 活動内容

- (1) 未充足の職業をターゲットに新会員候補者のリストアップを行い、会員増強委員会と連携して新会員の入会につなげます。
- (2) 会員選考に係る方針共有と意識付けを目的として、「会員選考委員会アワー」を企画します。  
(7 月 25 日)
- (3) 年間を通じて会員増強委員会と密に連絡を取り、必ず成果を上げたいです。

### (1) 来客とビジターの接待

- ① 来客及びビジターの対応については、例会担当委員会と連携し、座席案内等の接遇を適切に行います。
- ② ゲストスピーカーは役員席に案内し、スピーチ終了後の粗品を贈り謝意を示します。また、後日に週報を添えてお礼状を送付します。

### (2) 会員相互の親睦

- ① 月初めの例会に於いて、誕生月、結婚月、配偶者誕生月、会社創立月にあたる会員に記念品を贈り祝福します。
- ② 会員及び家族の慶事には、クラブ規定に則って記念品を贈呈します。

### (3) 本年度の活動計画

- ① 観月例会の開催（9 月 26 日）
- ② クリスマス例会の開催（12 月 21 日）

### (4) 会員家族との親睦

- ① 家族親睦旅行の開催（4 月予定）
- ② 家庭集会の開催（6 月 19 日）

### (5) 他クラブとの交流

西播第 2 グループゴルフ大会に会員に対して参加要請を行います。



## 例会担当委員会

### 1. 基本方針

当年度の例会担当委員会は、毎週の例会に於いて、会長、幹事、SAA、事務局と緊密に連携を図り、会員相互の親睦と会員の学びを目的に、クラブの活性化と会員増強に繋がる有意義な例会の開催を基本方針として、一年間の例会の管理運営に努めます。

尚、当年度は、クラブ奉仕委員長と例会担当委員会委員長が異なる為、また、これまで例会担当委員会と一括運営されてきた出席委員会が別委員会となった為、その協力関係の構築に努めます。

### 2. 活動内容

(1) 例会行事及び卓話予定表を作成し、臨機応変、プログラムの柔軟な管理に努めます。

※例会行事・卓話予定は別紙の通りです。

(2) 新会員の卓話は入会事情を考慮し柔軟に努めます。

(3) 次の通り、毎回の例会開催に努めます。

1) 会場設置や、その他、毎回の例会開催に必要な準備品の用意、席次の決定

2) 例会食事について、当年度から毎月2回目の例会に忍冬さんの弁当を採用します

3) 司会を委員会メンバーで順番に担当します。  
2025年2月20日に地区から講師を招聘し、クラブの活性化に資する例会担当委員会アワーを開催します。

4) 2025年4月3日に66周年創立記念例会(夜間)を開催します。

5) クラブとしては会員減少と共に出席率の低

さを危惧する為、できる限りの出席改善に尽力します。

## 雑誌担当委員会

### 1. 基本方針

雑誌委員会は、かつて龍野クラブに存在していましたが、近年、情報委員会等に含まれて運用されて来ましたが、当年度は、片岡委員長の方針の下、久々に独立した委員会となります。

雑誌購読は、デジタル化する今日に於いても依然、ロータリアンの3大義務の一つであり、ロータリーを知る源泉でもあります。雑誌購読により、会員は、ロータリーの縦軸の歴史や理念と横軸の地域や世界の動向を知ることができ、ロータリーライフを豊かなものにするばかりでなく、此处での学びは、明日の奉仕の実践に繋がります。

当年度の雑誌委員会は、特に内容の近い情報委員会や広報委員会と連携をとり、主に雑誌(ロータリーの友)とロータリーのHPなどから、会員の学びとクラブの活性化に繋がる情報提供に努めて参ります。

### 2. 活動内容

(1) 雑誌購読を奨励する為、そして、会員の有意義なロータリーライフに資するように、雑誌(ロータリーの友)やガバナー月信、ロータリーのHPから得た情報提供に努めます。

(2) 会員のロータリーへの関心や認識を高める為、ロータリーの友への投稿を奨励し、クラブのPRや会員の貴重な意見を、広く全国のロータリアンに知って頂く活動を奨励します。そして、クラブからの年間投稿総数4回以上を目差しますので、ご協力をお願い致します。

(3) “ロータリーの雑誌”についての情報を紹介し、雑誌に関する課題を会員が考える機会を設けます。





## 1. 基本方針

ロータリーの本義は「人づくり」にあり。クラブはリーダーの学び舎であって、その切磋琢磨の場が毎週の例会です。

しかし、クラブだけが、例会だけが、ロータリーの全てではありません。ロータリーは、実践面に於いては可能性に溢れた世界組織であり、ロータリアン共通の「奉仕の理念」のもと、様々な奉仕・研鑽・親睦の機会に繋がっています。また思想面では、120年の長きに亘って洗練された人生経営の叡智の結晶であり、探求するほどに奥深い世界があります。

そんなロータリー世界の扉を開く鍵が研修です。会員が、鍵となる研修を得られずに扉の向こうに広がる世界に触れることなく、その価値を知らずにロータリーを去るとしたら、なんとも勿体ないことです。

当委員会は、会員個々のニーズにマッチした扉を開いて、ロータリーの価値を再認識し、自信と誇りを持てるような会員研修の企画運営に努めます。

## 出席委員会 ●森口委員長



## 2. 活動内容

### (1) 情報委員会アワー (8/29)

クラブの求心力となる「ロータリーの価値」と「クラブの存立目的」について考えるフォーラムを計画しています。

### (2) 新会員研修 (7/18 ほか)

新会員がロータリーについて体系的に理解できるような研修に努めます。

### (3) クラブ役職者向け業務研修

特に会長・幹事については、組織規定をはじめロータリーの枠組みに習熟しておく必要があり、適時適切な研修に努めます。

### (4) Rotary's Value 研究会 (6月～11月)

今年度、西播第2グループIMに於けるクラブ発表に向けて、若手会員がクラブの歩みを振り返って将来を展望する自主勉強会(Rotary's Value研究会)をサポートします。

### (5) 地区セミナーの活用

会員に対して、「RLIセミナー」や「ロータリー研修デー」等、地区セミナーへの参加を奨励します。

### (6) ロータリー情報の共有

最新ロータリー情報をクラブで共有することにより、会員が国際ロータリーの動向をアップデートできるように努めます。その一環として、理事会の負託を受けて地区セミナーに出席された会員には、必要に応じて受講内容をクラブに還元いただきますようお願いいたします。

会員の皆さんが、気持ちよく出席できるよう  
お願いをしていきます。

一年間、よろしくお願いいたします。



例年と同様、毎週木曜日に開催される例会の内容と各委員会活動の報告を、小倉事務局にご協力をいただきながら、週報として発行し、会員と関係者に配布します。

一年間、よろしくお願い申し上げます。